



12月・・・今年もお世話になりました

早いもので、もう12月。1年はあっという間で
すね。子供たちも毎日目の前で見てると変化に
気づきにくいのですが、この1年、大きく成長し
たと思うことがしばしばです。

コロナ感染症の猛威が少しおさまった10～11月
は様々な行事や活動で忙しい子供たちでした。12
月は少し落ち着いてしっかり学習に向き合わせ、
定着を目指したいと思います。

13日からは、各学年「学力検査」に取り組みま
す。現在の指導要領の学びに合った学力が身につ
いているかを図ります。これも一つの目標に、頑
張ってほしいと思っています。

秋なのにひまわり？

24日にひまわりの
花が咲きました！吉
井中学校から預かっ
て、もみじ学級さん
が大切に育ててい
るのです。



これは、「吉井中ひ
まわり里親プロジェクト」という吉井中の取組
で、被災地福島からもらった種を生徒会の皆さん
が育て、吉井地区の各所に配っているものです。

秋咲きひまわり。お日様の方を向いて大きな花を咲かせるひまわりには、元気をもらいますね。
被災地の皆さんの笑顔が一日も早く戻ることを思いながら、ひまわりの花を眺めています。

主体的に学ぶ！～3年 まつばや見学～

3年生の子供たちが社会科の学習でスーパー
マーケットの見学にまつばやに出かけました。買い
物でよく行くスーパーですが、何気ないお店の中
に、こんなにもたくさんの工夫や秘密があったな
んて！！品物が店頭に並べられるまでに、どこで
つくられどうやって運ばれたのか。お店に並べる
までに裏方でお店の方々はどうな工夫をしている
のか。事前にしっかり学習していたので、子供た
ちの興味は尽きません。質問もいっぱいです。た
くさんの質問をして、お店の方々に親切に教えて
いただいて、大満足して帰ってきました。

物事の裏には、必ず人々の働きや思いがあるの
ですね。この経験を通して、お家でも普通に生活できる裏にはお家の方々の働きや思いがあるこ
とを感じ取ってほしいものです。



12月の行事予定



- 1日(水) 全校集会
- 3日(金) 県学力向上学校訪問
- 6日(月) 読み聞かせ
- 7日(火) ALT チ T はまゆう
- 8日(水) 児童集会 クラブ
- 9日(木) 全校5校時 市学力向上研究授業
- 10日(金) 授業参観(学校保健委員会)
【1～3年5校時・4～6年6校時】
聖和中・高校直谷城発表(6年)
- 13日(月) 読み聞かせ
- 13日(月)～17日(金) 学力テスト週間
- 14日(火) チ T
- 15日(水) 交流給食(予定) 共遊
- 17日(金) 6年乗り入れ授業
- 21日(火) チ T ALT
- 22日(水) 6年乗り入れ授業
- 24日(木) 全校集会 大掃除 全校5校時授業
- 25日(土)～1月10日(月) 冬休み



優しい心・優しい言葉・優しい仲間 ～優しい子供たちが育っています～

* 1・2 生活科遠足

19日（金）、絶好の秋晴れの下、1・2年生の子供たちが世知原少年自然の家へ生活科遠足に出かけました。自然林の中を散策して秋の木の実を拾ったり、拾ったドングリや松ぼっくりなどを使って工作をしたり。子供たちはとても楽しかったようで、秋の自然を満喫した1日でした。

その中で光ったのが、1年生のお世話をする2年生の姿です。ペアを組んで活動しましたが、ペアの1年生に、優しく声を掛けたり、うまくいかないときには教えてあげたり、根気強く待ってあげたり、1年生を思いやる姿がたくさん見られました。一学年しか変わらないのに一生懸命下級生のお世話をしようとする上級生としての自覚が育ったのですね。

そして、1年生は上級生から優しく守られることを肌で感じました。この経験で、きっと来年2年生になった時に、一生懸命1年生のお世話ができることでしょう。

同級生の中では時にうまくいかない社会的な行動も、異学年で触れ合うと案外素直な姿を見ることができます。異学年で触れ合うことの大切さを改めて感じた遠足となりました。



* 2年生お芋調理

2年生の話題が続きますが、25日（木）、地域の食生活改善推進グループの方々をお迎えし、収穫した芋を使った調理にチャレンジしました。今回は「茶金絞」です。サツマイモを洗って、皮をむいて、子供たちも張り切って準備しました。そのお芋を、包丁で切って、鍋で蒸したら蒸しあがったお芋をつぶして、バターやお砂糖、ミルクを入れてよく混ぜます。最後にトッピングを加えてラップで茶金にして出来上がりです。慣れない手つきで包丁をもって芋を切る様子には、見ていてもはらはらしましたが、会の方々が上手に手助けをしてくださって、無事全員怪我無くおいしく調理をすることができました。



ここで、またもや2年生の「優しい姿」が光りました。自分から進んで挨拶をしたり、自分の言葉でありがとうの気持ちを伝えることができたり、あるいは2年生同士「お先にどうぞ」と譲り合ったり、相手を思う姿が随所に見られたのです。お世話をしていただいた地域の方々から、たくさん褒められました。きっと、前回の遠足で感じ学んだことが、今回の行動につながったのでしょう。関わりを「待つ」のではなく、積極的に自分から関わろうとする姿に大きな成長を感じました。

校長室の窓から⑤

いつも並んでいる6年生のくつ箱

児童玄関に行くと、いつも6年生の靴箱は並んでいます。他の学年にも声をかけたところ、「くつを並べよう」とする意識が育ってきました。靴を並べる＝落ち着いて生活をする＝けがをしない・・・など良いことにつながります。

10月末～11月前半は、子供たちの怪我が増えて心配していましたが、この頃はぐっと減りました。やはり、くつの並びかたと比例しているようですね。

くつを並べ、気持ちを整え、一日一日を丁寧に過ごしてほしいと思います。

